

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：中国地方整備局都市・住宅整備課
担当室長名：石崎 隆弘

事業名	かなべみのみせん 神辺水呑線（I期）	事業区分	街路	事業主体	広島県
起終点	ひろしまけんふくやましひがしてしろちょう 自：広島県福山市東手城町 ひろしまけんふくやましあけほのちょう 至：広島県福山市曙町			延長	1.2 km

事業概要
神辺水呑線は、山陽自動車道福山東ICから国道2号を経て、重要港湾福山港や福山市南部（鞆方面）へ至る主要な幹線街路であるほか、福山都市圏の外郭環状道路の一部として機能強化を図る路線である。本路線の完成までには多大な期間と事業費を要することから、渋滞緩和を図る当面の措置として、入江大橋南北交差点の改良や平面街路部の橋梁整備を含む延長約1.2km区間を神辺水呑線（I期）として整備するものである。

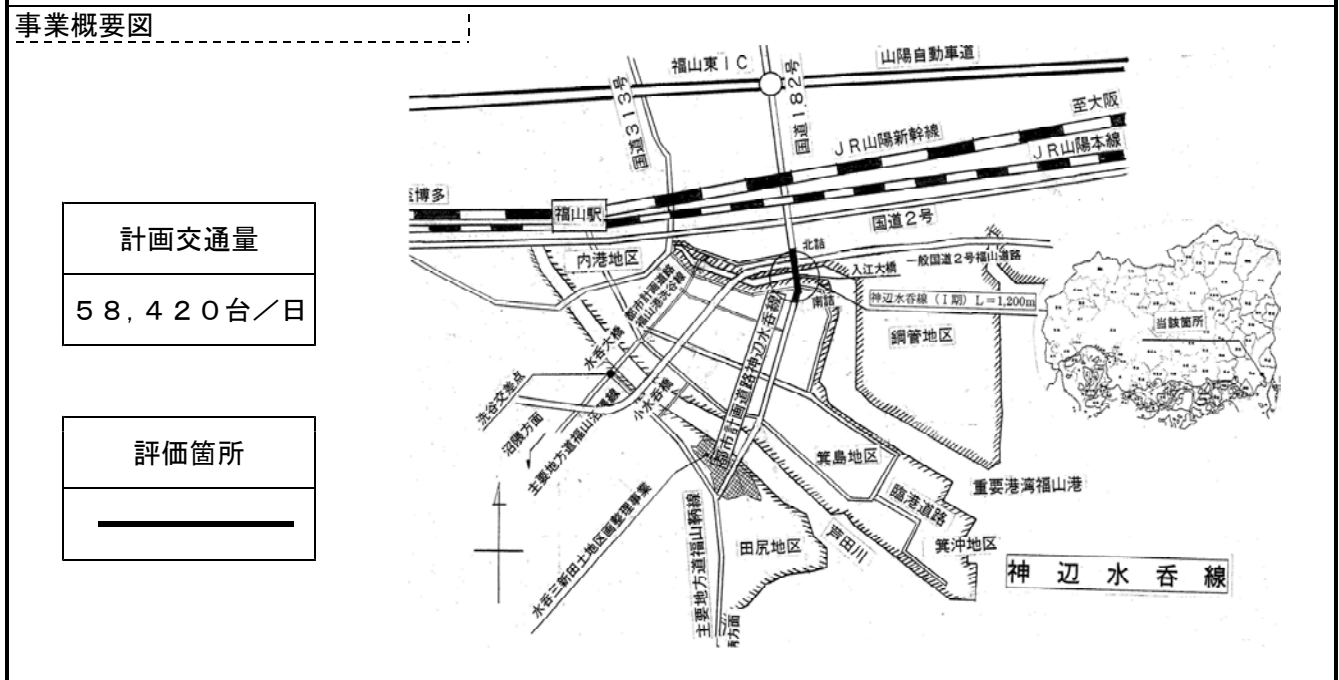
事業の目的、必要性
本路線の入江大橋北詰交差点付近は、朝夕に慢性的な渋滞が発生していることから、広島県第3次渋滞対策プログラムにおいて主要渋滞ポイントとして位置付けられており、福山都市圏交通問題の緊急課題となっている。そこで早期に事業を行い交通渋滞を解消する必要がある。

全体事業費	120億円		計画交通量	58,420台/日	
費用便益分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	9.2	84.9億円 （事業費：84.6億円 維持管理費：0.3億円）	784.8億円 （走行時間短縮便益：760.0億円 走行費用減少便益：20.2億円 交通事故減少便益：4.6億円）	平成16年	

事業の効果等
・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される）
・物流効率化の支援（重要港もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる。）
・災害への備え（対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は、地震防災緊急事業五ヵ年計画に（以下「緊急輸送道路」という）位置付けのある路線）

他15項目に該当する。

関係する地方公共団体等の意見
慢性的な渋滞を引き起こしている入江大橋付近の早期整備を強く望んでいる。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。